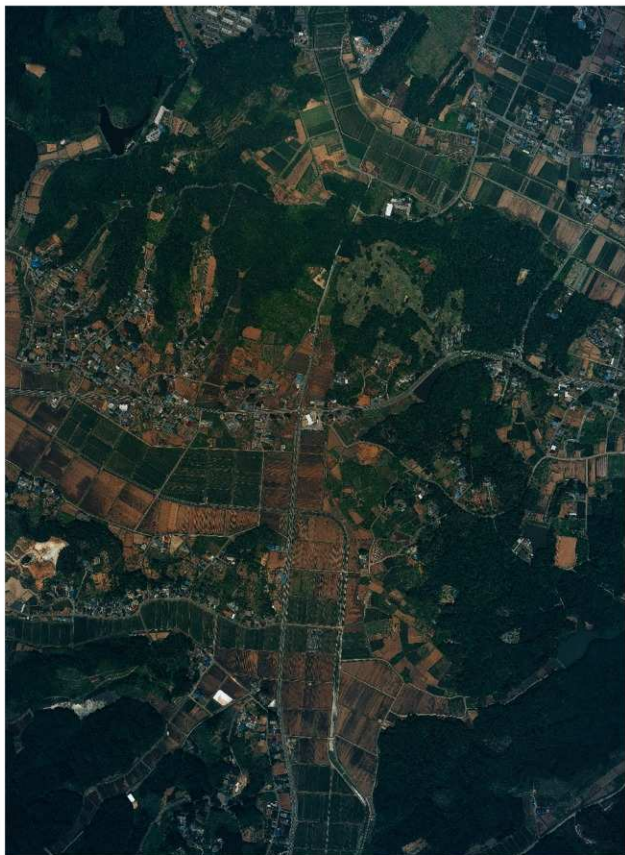


写真図版



古里古墳群遠景



1 調査区遠景



2 調査区近景



1 驹込支群第27号墳



2 第1号溝跡



3 第2号溝跡



4 第3・4号溝跡



5 第5号溝跡



6 第7号溝跡



7 第7号溝跡遺物出土状況(1)



8 第7号溝跡遺物出土状況(2)

图版 4



1 第8号沟迹



2 第1号土墩



3 第2号土墩



4 第3号土墩



5 第4号土墩



6 第7号土墩



7 第8号土墩



8 第10号土墩



1 第27号埴 (第7图1)



2·3 第27号埴 (第7图2·3)



4 第7号溝跡 (第11图3)



5 第7号溝跡 (第11图4)



6 第7号溝跡 (第11图5)



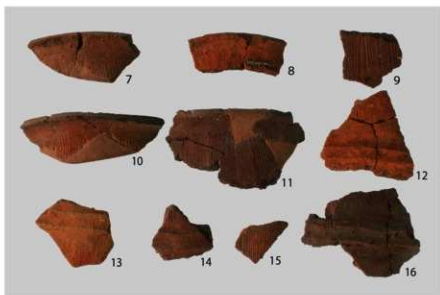
7 第7号溝跡 (第11图6)

图版 6

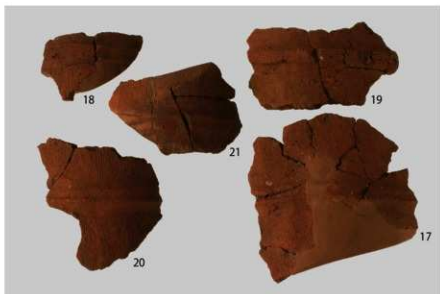
1 第7号满跡
(第11图1・2)



2 第7号满跡
(第12图7～16)

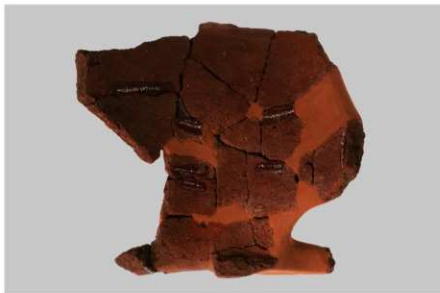


3 第7号满跡
(第12图17～21)

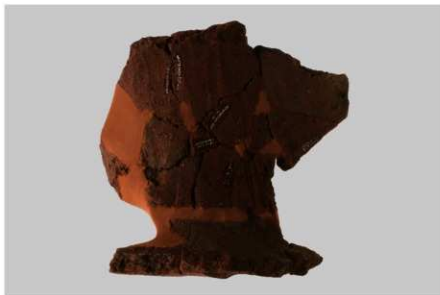




1 第7号沟跡
(第13图23) 正面



2 第7号沟跡
(第13图23) 外面

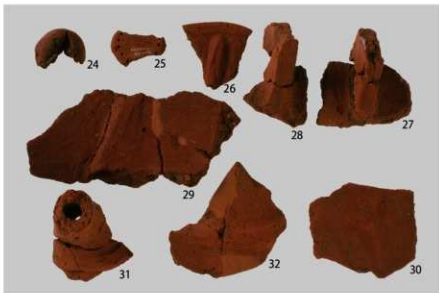


3 第7号沟跡
(第13图23) 内面

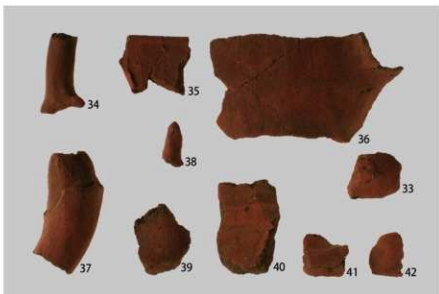
1 第7号满跡
(第13图22)

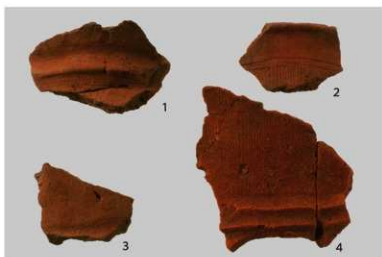


2 第7号满跡
(第13图24~29)
(第14图30~32)



3 第7号满跡
(第14图33~42)





1 第9・10号溝跡・グリッド (第16図1~3 第19図4)
 (1 第9号溝跡 2~3 第10号溝跡 4 グリッド)



2 表採 寛永通寶 (第19図5)



3 1類 (第11図3)



4 2類 (第11図2)



5 3類 (第11図1)



6 4類 (第12図20)



7 5類 (第12図8)



8 6類 (第12図19)

報告書抄録

ふりがな	ふるさとこふんぐんこまごめしぐん							
書名	古里古墳群駒込支群							
副書名	主要地方道熊谷小川秩父線(嵐山町地内)関係埋蔵文化財発掘調査報告							
巻次								
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書							
シリーズ番号	第363集							
著者氏名	宮井英一							
編集機関	財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台西丁目4番地1 TEL0493-39-3955							
発行年月日	西暦2009(平成21)年3月24日							
所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡					
ふるさとこふんぐん 古里古墳群 駒込支群	さいたまけん 埼玉県 ひまきぐんらんごんまち 比企郡嵐山町 おらぬまふらぎ 大字古里198 -4他	11342	060	36°05'55"	139°18'42"	20020408~ 20020531	480	歩道整備
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
古里古墳群 駒込支群	古墳群	縄文時代			縄文土器			
		古墳時代	古墳跡	1基	土師器 円筒埴輪 形象埴輪	駒込支群中27基目となる6世紀前葉の円筒が 発見された。		
		近世・時期不明	溝跡 土壌 ピット	1条 13基 10基	古銭 陶器			
要約	<p>古里古墳群は6世紀前葉から7世紀前葉にかけて形成された古墳群である。比企丘陵の北東端に位置し、丘陵斜面から丘陵裾にかけて古墳が分布している。古墳群は、全部で11の支群に分別して呼称されており、今回発掘対象となった駒込支群は、その中でも最大規模の支群である。これまでに26基の円筒の存在が確認されていたが、今回の発掘調査で新たに1基の円筒が発見され総数は27基となった。</p> <p>発見された第27号墳からは、土師器や少量の埴輪片が出土しており、土師器の年代から築造時期は6世紀前葉と考えられるが、埴輪が崩立されたかについては判断しない。墳丘は現存しないため、現地表面からは古墳の存在を確認することはできず、主体部も既に失われているものと考えられる。</p> <p>本古墳群が現状では駒込支群の南および東端にあたり、これより東側は谷地形となっているため古墳は存在しない可能性が高い。そのため、支群の形成範囲を捉えるための重要な発見となった。</p> <p>古墳跡のほかには、溝跡、土壌、ピットが検出された。これらの遺構は、共存遺物もなく時期を明確にすることはできないが、調査区内からは寛永通寶や陶磁器片が出土していることから、近世以降の耕作に伴って構築された遺構群とも考えられる。</p> <p>また、遺構は検出されなかったが、僅かに中期の縄文土器片が出土した。過去の調査時にも同様の時期に該当する土器片が出土していることから、周囲に縄文時代の集落跡などが存在している可能性がうかがわれる。</p>							

埼玉県埋蔵文化財調査事業報告書 第363集

古里古墳群駒込支群

主要地方道熊谷小川秩父線（嵐山町地内）関係
埋蔵文化財発掘調査報告

平成21年3月18日印刷

平成21年3月24日発行

発行／財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
〒369-0108 熊谷市船木台四丁目4番地1
0493(39)3955

<http://www.saimaibun.or.jp>

印刷／朝日印刷工業株式会社